

あわあわじょうりの会

阿波、淡路は人形浄瑠璃が日本で最も盛んな地域。数多くの太夫が、三味線の師匠のもとで稽古に励んでいます。

阿波と淡路の3つの太夫部屋が合同で、日本の語り音楽「浄瑠璃」の魅力に迫ります。人形のつかない素浄瑠璃で、人形浄瑠璃の代表的な演目をじっくりとお聴きいただきます。定期公演「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」と合わせてお楽しみください。



- 11:00~11:30 「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」定期公演
太夫／連記佳月、三味線／豊澤町若人形／城北座
- 11:45~12:10 「傾城阿波の鳴門 十郎兵衛内の段」
太夫／新田京子、三味線／鶴澤友輔
- 12:15~12:40 「壺坂観音靈験記 山の段」
太夫／佐々木なるみ、三味線／竹本友和嘉
- 12:45~13:10 「仮名手本忠臣蔵 勘平切腹の段」
太夫／福岡幹敏、三味線／鶴澤友球
- 14:00~14:30 「傾城阿波の鳴門 順礼歌の段」定期公演
太夫／新居千明、三味線／豊澤町若人形／城北座
- 14:45~15:10 「艶姿女舞衣 酒屋の段」
太夫／竹内雅代、三味線／鶴澤友輔
- 15:15~15:40 「伊賀越道中双六六段目 沼津里の段 (奥)」
太夫／上田みのる、三味線／鶴澤友球
- 15:45~16:10 「伽羅先代萩 政岡忠義の段」
太夫／藤井登美昇、三味線／竹本友和嘉
- 16:15~16:40 「絵本太功記十段目 尼ヶ崎の段」
太夫／古匠佐恵子、三味線／鶴澤友球

友球会 (ともじゅかい)

かつて全域に多数のアマチュア太夫が存在した淡路島は、今日においても全国有数の「浄瑠璃どころ」である。「友球会」は、そうしたアマチュア太夫の活動の流れを引き継ぐ団体。人間国宝鶴澤友路師匠の直弟子である鶴澤友球師 (淡路市在住)のもとで浄瑠璃の指導を受け、平成24年度からは、より多くの人々に素浄瑠璃の魅力を発信できる場をつくるとともに、アマチュア太夫の育成を目指して、淡路島全域での草の根活動的な役割を担っている。



友和嘉会 (ともわかかい)

平成九年に、人間国宝鶴澤友路師匠より拝命した竹本友和嘉師匠を指導者として発足。現在、会員数は22名と徳島最大の語りの会へと成長している。会の活動は幅広く、徳島県内はもとより、淡路・大阪等の大会にも積極的に参加している。竹本友和嘉師匠は、平成二十五年には東京の国立演芸場での女流義太夫演奏会に出演した。平成二十六年十一月には阿波十郎兵衛屋敷において第一回阿波路会公演を開催した。



友輔会 (ともすけかい)

平成13年、人間国宝鶴澤友路師匠より拝命した鶴澤友輔師匠を指導者として発足。鶴澤友輔師匠は、国民文化祭・とくしま2007で瀬戸内寂聴原作の新作人形浄瑠璃「義経街道娘恋鏡」「モラエス恋遍路」の作曲、演奏を、2012年の全国初2度目の国民文化祭では「阿波の心」の作曲と弾き語りを担当。県内外はもとより海外公演にも参加するなど精力的に活動し、平成13年に(財)徳島県文化協会の芸術文化奨励賞を受賞。平成18年には、徳島県から阿波文化創造賞を受賞。常に新しいことにチャレンジする友輔師匠のもと、会員一同、人の心に届く浄瑠璃を目指している。



平成二十七年七月十一日(土) 十一時開演

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷・徳島市川内町宮島本浦

電話 〇八八・〇六六五・二二〇二

電子メール awajurobeyashiki@mf.pikarane.jp

料金 一般・四百円、高大学生・三百円、小中学生・二百円

主催 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷、あわあわじょうりの会